村山苑 はとほーむ

愛ある平和な施設のための情報誌

第５４号

目次

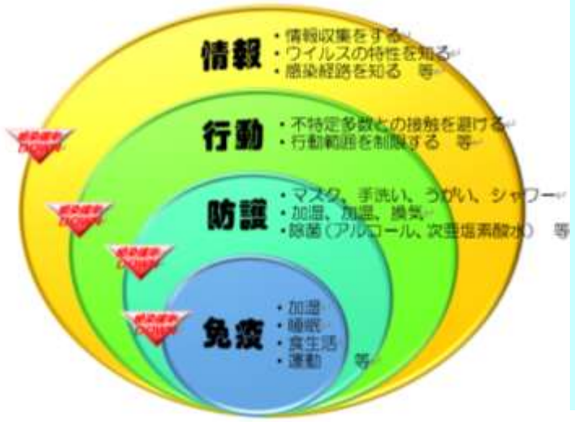
・「感染症対策は万全か」ハトホームの感染症対策　・・・　１面
・「ドライマウスのお話」訪問歯科講習会　・・・　２面
・「リハビリ室から生活の場へ」機能訓練指導員インタビュー・・・　２面
・第２ハトホーム初めての季節行事(クリスマス会、お琴演奏会)　・・・　３面
・新しい施設(第２ハトホーム)へ移動して…入居者の方々の声　・・・　４面

感染症対策は万全か

新型コロナウイルスに関する報道が相次ぐ毎日…。介護施設にも、感染拡大防止のための「具体的な対策」について厚生労働省より通達がありました。ハトホームでも、臨時で会議を開催して、施設内での対策の検討、確認をしています。

左の図（※）は、ウイルス感染の確率を下げる為の考え方をまとめた資料です。一つの対策に注力するだけでは不十分で、多角的な視点から多くの対策を積み重ねる事による「総合的な対策」が、効果的に感染リスクを下げることを示しています。

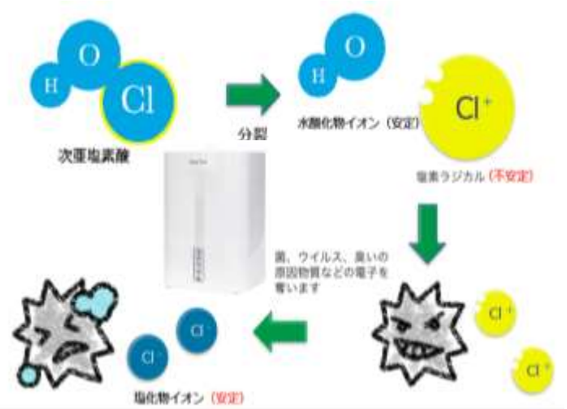
※👇ウイルス感染確率を下げる為に…



ハトホームの対策で、除菌・加湿という観点で活躍してくれているのが次亜塩素酸水の『ノロックス』です。専用の噴霧器での空間除菌を担っています。左の図は、次亜塩素酸水がウイルスを撃退する仕組みです。んー…目に見えないものは難しいですね。

とはいえ、保管面や効能面をよく考えて開発されたノロックス。度重なる改良を経て展開された噴霧器。お陰さまで、導入以後の２年間、インフルエンザから守ってくれています。

まだまだ、感染症の流行するシーズンです。気を緩めることなく総合的な対策を継続していきたいと思います。



新しい施設へ移動して…
～入居者の皆様の声～

・食堂や部屋が綺麗で嬉しい。

・部屋が個室だから、好きな時に好きなテレビ番組が見られる。

・食事が、温かいのと冷たいのにちゃんと分かれてて、美味しい。

新しい第２ハトホームへ

建替え工事が始まり数ヶ月が経ちました。旧南館が少しずつ姿を消し、今は更地になった光景を目の辺りにし、入職した当時の記憶が蘇り、少し感慨深い気持ちになりました。

リニューアルした建物が出来上がる事も楽しみですが、改めて、旧南館の記憶を忘れずにしたいと思います。

● 2021年５月　新施設「第２ハトホーム」完成予定

オープンに向けてスタッフを募集しています。
介護・看護等、すぐに働ける方大歓迎です。
お気軽にお問い合わせください。
☎042-393-8496（法人本部採用担当まで）
現在、清瀬の代替施設で運営中です。

第２ハトホームの２階と３階に、談話コーナーを設置しました。是非ご活用下さい。

本文デザイン　ハトホーム広報委員
発　　行　社会福祉法人　村山苑
　　特別養護老人ホーム　ハトホーム
〒１８９－００２４
東村山市富士見町２丁目７番５号
TEL　０４２－３９３－７５７４
E-mail　hatohome@murayamaen.or.jp
発行人　畠山　千春
編　集　ハトホーム広報委員会
2020年３月末日　発行
※ホームページも随時更新しています。
https://www.murayamaen.or.jp/hatohome/
※個人情報保護法に基づき、本人承諾のうえ、写真・作品を掲載しています。

村山苑のHPに村山苑のPR動画ができました。是非ご覧ください。

広報委員強化中！！

職員が広報に関する外部研修を受けた事から始まった、「広報強化期間」。やり取りのしやすさやアットホームな空間のため、打合せの部屋も小さくし、よりハトホームらしい広報誌を目指しています。

ドライマウスのお話

ハトホームで行われた訪問歯科の先生による講習会。興味深い内容でしたのでご紹介します。

唾液の分泌量が減少し、口の中が乾いてしまう病態をドライマウスと呼びます。重症化すると、味がわからない、舌が痛い、口臭が強くなる、話しづらいなど、日常生活に支障をきたします。

原因は、「加齢」「女性ホルモン量の低下」「ストレス」「疾患（糖尿病や腎疾患、唾液腺疾患）」「医薬品の副作用」「喫煙」「不規則な生活」などと言われています。最近では、30代でも自覚症状がみられる人が増えているそうです。

通常、1日1ℓ以上の唾液が分泌され、口の中を潤しています。唾液の働きは、①消化促進②免疫③抗菌④再石灰化⑤自浄⑥緩衝⑦保護⑧自己修復作用など多岐にわたり、体の健康に不可欠なものです。

よく噛んで食べる、自分に合ったストレス解消法を実践するといったことで改善が見込める場合もありますが、医療機関の受診が必要なケースもあるようです。

ハトホームにとって最注目なのは「加齢」によるドライマウスです。

「対処法が有効」とのことで具体的な方法を教えて頂きました。

- 分泌を促す唾液腺マッサージ。
- うがいや補水で口の中を潤す。
- 保湿剤や治療薬を活用する。

訪問歯科と連携をして、口の中からも日常生活を支えていきたいと思います。

リハビリ室から生活の場へ

昨夏より本格稼働した「フロア内でのリハビリ訓練。」担当している機能訓練指導員の本田先生を直撃取材しました。

入居者自身の生活を知ることが、効果的な機能訓練を行うための第一歩です。フロアへ足を運び、それぞれの入居者の行動を観察。実際に生活している場面で直面している「具体的な困りごと」に注目し、その場で、直接的な訓練をすることで、問題を解決していけるように心がけています。

車椅子を利用している方に見られる事故の多くは、お部屋の中での転倒です。ベッドに移ろうとして失敗してしまう。床に落としたものを拾おうとして車いすからずり落ちてしまうといったケースがみられます。その時々の違った環境下で、何気なく行動したことが主な原因です。

車椅子の角度、つかまる手すりや足の位置、足のはこび方や重心移動の感覚といった一連の動作を「いつでも同じ状況」でできるように訓練することで、再発防止を図ります。「普段生活している場所」で行うことで、より効果的な訓練となります。

また、ベッド上での適切なクッションの使い方を提案し、安楽な姿勢の保持に繋げるなど「生活の場面」だからこそ可能となることが沢山あります。

1日の訓練人数は平均38人。1人当に関われる時間が限られてしまうことが課題です。簡単な道具を使った「単独でも訓練できるメニュー」を取り入れることで、訓練時間の増加を模索しているところです。

「気づかなかった残存能力にびっくり」「笑顔が増えたよね」入居者の変化に介護の職員からも嬉しい声が上がっています。

第2ハトホーム クリスマス会

第2ハトホームへ移ってからの初めてのクリスマス会。演奏や歌の披露はありませんでしたが、サンタやトナカイの衣装に扮した職員、三角帽を被った入居者の皆様、クリスマスらしいお食事、ジュースもあり、皆さん大喜びでした。ささやかでしたがクリスマスの雰囲気を楽しんで頂きました。

参加された方の感想

- サンタが出て来ると、雰囲気が出て楽しくなるわ
- 美味しいジュースをありがとうございます
- 人が多くなると、賑やかになって、嬉しくなります
- 白鳥がいて、ビックリした

第2ハトホーム お琴演奏会

令和二年一月十二日(日)、都立久留米西高校の学生さんによる、新春お琴演奏会が開催されました。

入居者の皆様には懐かしい名曲を、お琴で見事に奏でられ、演奏中、皆様真剣な表情で聞き入っており、とても感動していました。

参加された方の感想

- 感動して、涙が出ました
- 懐かしい曲が多く、大変良かったです
- 生の演奏は、迫力がありました